

モンキーキャンパス受講生有志による 屋久島研修ツアー

○石樽玲子¹⁾ 中野洋二郎¹⁾ 加藤美知子¹⁾ 杉本賢治¹⁾ 福岡雅¹⁾ 土性亮賀²⁾ 赤見理恵¹⁾ 2)
1) 日本モンキーセンター友の会 2) 公益財団法人日本モンキーセンター



4月1日より
パスマーケットで受付開始！

第1回 6/19 (日)
『霊長類と対話』平田オリザ
第2回 7/10 (日)
『ヒトの脳と心の発達
ー多様な脳のように開発するの？』明和政子
第3回 8/7 (日)
『チンパンジーの『つながり』のかたち』中村義昭夫
第4回 9/11 (日)
『島の生物学：コンパクトな生態系と
長い歴史が生み出したユニークな動物たち』伊藤雅子
第5回 10/9 (日)
『霊長類の色覚進化から見る
ヒトの多様な色の世界』川端裕人
第6回 11/13 (日)
『デジタル人類学が解き明かすヒトの進化』萩原直道

はじめに

モンキーキャンパスは日本モンキーセンターが主催する連続講座で、例年約100名が受講している。講義を聞くだけでなく実際にフィールドに行ってみたいという受講生の声を反映し、今まで幸島や金華山、ボルネオなどへの研修ツアーが実施された。2年間コロナ禍で実施されなかったが、2022年度は湯本貴和氏の指導のもと、受講生有志5名とスタッフ2名が屋久島を訪問したので報告する。

日程: 2023年11月28日(月)～12月1日(木)(4日間)
訪問地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 滞在拠点: 日本モンキーセンター屋久島研修所
参加: 受講生有志5名 引率: 赤見、土性 指導: 湯本貴和先生、藤田志歩先生



ツアー前

7月～9月の開講日
10月9日(日)
11月13日(日)

簡単な説明と資料配布
説明会(湯本先生もオンライン参加)
ヤクシマザル観察会@モンキーバレイ



10月9日(日)モンキーキャンパス終了後の説明会。湯本先生もオンライン上でさまざまな質問に答えてくださった。



11月13日(日)モンキーキャンパス終了後のヤクシマザル観察会。オスとメス、オトナとコドモの見分け方などを学んだ。

ツアー中

11月28日(月) AM

中部国際空港⇒鹿児島空港⇒屋久島空港
宮之浦のレストランで昼食、食材買い出し
レンタカー2台に分乗し研修所へ
西部林道でヤクシマザルやヤクシカの観察
夕食 自炊
夕食後 **湯本先生によるレクチャー**



プロペラ機で屋久島空港に到着。上空から屋久島の険しい山々や宮之浦港などが見えた。



初日から西部林道でたくさんのサルやシカを観察できた。翌日から雨予報だったため、初日の晴れ間に観察できてよかった。



植物を解説してくださる湯本先生。この時期花を咲かせるツブキや、巨大なクワズイモなどが印象的だった。



1日目の夕食後の湯本先生によるレクチャー。屋久島の地形、植生、歴史など、このあとの研修の予備知識となるものばかりだった。

11月29日(火) AM

雨天だったため白谷雲水峡へ
道中、リュウキュウマメガキ採食中の群れ観察
白谷雲水峡で雲霧林の植物観察
昼食は朝作ったおにぎりなど
PM **道中、人が近づくと逃げる群れを観察**
紀元杉周辺でヤクスギ林の植物観察
帰路に食材追加買い出し
夕食 自炊
夕食後 屋久島に調査や研修に来ている学生らと交流



白谷雲水峡への道中、偶然会った群れ。1本のリュウキュウマメガキに多くの個体が集まって採食していた。



こんな道端で観察できた。サルが落とすマメガキをひろい、洗って昼食時のおやつにした。少し渋みはあるが、じゅうぶん食べられた。



白谷雲水峡で散策。分厚い皮をもつリンゴツバキの実や、水流に抵抗のないよう切れ込みのある葉をもつヒドリソウなど、屋久島ならではの植物を観察した。



雨が強くなる中、車で標高の高い地域まで移動し、ヤクスギ林を散策した。同じ屋久島の森でも、風景がまったく違うのが興味深かった。

11月30日(水) 終日

2班に分かれ、西部林道周辺で群れの追跡
①食性や生態を中心に観察(湯本先生指導)
②社会を中心に観察(藤田先生指導)
昼食は朝作ったおにぎりなど
夕食 自炊
夕食後 藤田先生も招き研修のふりかえり



出発前の打ち合わせ。湯本先生の右側は藤田先生で、ご自身の調査予定が天候により中止となったため急遽ご指導をお願いした。



2班に分かれ少人数で森に入った。入林許可を受け、地形や危険箇所などをよく知る先生にご指導いただいたからできた、貴重な体験だった。



アカンボウが集まって遊ぶ。森の中でもあまり人を気にしない。サルに随伴するシカも、サルが安心していうせいかあまり逃げない。



グルーミングするサルと、フンを持つシカを観察する。特徴的な顔の個体は個体識別することもできた。

11月5日(火) AM

研修所の片付け・清掃
レンタカー2台に分乗し屋久島空港へ。
途中、昼食、お土産購入。
PM 屋久島空港⇒鹿児島空港⇒中部国際空港



屋久島研修所の片付けと清掃。旅館やホテルと違い、自分たちでやらなければいけないことは多いが、スタッフも参加者も講師も(!)、一緒になっている作業も楽しい。



お世話になった屋久島研修所の前で記念撮影。

みなさんの感想より

いろいろな場所でサルをたくさん見たのがよかった

単なる観光に陥りがちな地域で、研究者の方々のおかげで系統的学習ができた。

動物園の環境整備の必要性を感じた。同時に野生ザルの環境保全の困難さも認識できた。

自炊が不安だったが、わいわい楽しく交流できた。

ツアー後

- Webサイトのニュースやブログでスタッフが報告を掲載
- 雑誌「モンキー」へ報告掲載
- 本プリマーテス研究会の発表準備



Webサイトのニュースでの報告



雑誌「モンキー」での報告記事。3月1日発刊予定。

おわりに

参加者それぞれにさまざまな体験や感動があった。これを個人のもので終わらせず多くの方と共有し次につなげていきたいと考え、本発表を計画した。今後も日本モンキーセンターが「自然への窓」となり、フィールドと動物園をつないでいくことに期待したい。